

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食物アレルギー患者における呼気一酸化窒素濃度の評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年1月1日から2022年12月31日に昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科で食物アレルギー(アニサキスアレルギーを含む)喘息と診断され、あるいは喘息を疑われ、呼気一酸化窒素濃度測定を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

背景・目的：呼気一酸化窒素濃度は喘息をはじめ気道疾患で高値を示すことが報告されています。肺のなかの好酸球という炎症細胞の異常な集まりと相関することが示されています。食物アレルギー患者では喘息の合併が一般人口よりも多いことが報告されていますが、症状を自覚していない患者さんや、隠れて持っている患者さんが多数いることが推察されています。呼気一酸化窒素濃度は喘息の合併を鋭敏に検出することが可能な検査です。症状を自覚していない患者でも実施することで喘息を早期診断することが可能となります。あきらかに喘息を併発している患者さんに限らず、アナフィラキシーを生じた既往のある患者さんや、食物アレルギーで呼吸器症状を示したことがある患者さんで実施した呼気一酸化窒素濃度がどの程度高値で、実際に喘息患者さんがどの程度存在するのか評価します。喘息の併発を早期に検出することで食物アレルギー患者の経過を改善することが可能になることを期待します。

方法：昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科に受診・通院している食物アレルギー患者さん(80人)および喘息患者さん(20人)合計100人。食物アレルギーにはアニサキスアレルギーも含まれます。診療記録から患者さんの性別、年齢、併存症、既往、食物アレルギーに関する情報(誘因、アナフィラキシーの有無、病気にかかってからの年数)、家族歴、エピペンの処方の有無、身長、年齢、血液検査(アレルギーに関連する項目)、呼気一酸化窒素濃度、肺活量検査結果を調査します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果

通知書の承認日より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから R6 (2024) 年 5 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの性別、年齢、併存症、既往、食物アレルギーに関する情報（誘因、アナフィラキシーの有無、
り患年数）、家族歴、エピペンの処方の有無、身長、年齢、血液検査（アレルギーに関連する項目）、呼
気一酸化窒素濃度、肺活量検査結果を診療記録をもとに調査します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門	鈴木慎太郎
研究分担者	昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門	相良 博典
分担研究者	同 能條 眞	

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他
の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧す
ることが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さ
んもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連
絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門 氏名：鈴木慎太郎
住所：品川区旗の台 1-5-8 電話番号： 03-3784-8532